

# 定員上回る受講申し込み

## 外国人向け 観光ガイド 育成プロジェクト

明治大学と新宮市を  
中心に熊野地域の自治  
体が連携して外国人向  
け観光ガイドを育成す  
るプロジェクトの開設  
シンポジウムとプロジ  
ラム説明会が18日、新  
宮地域職業訓練センタ  
ーで行われた。

このプログラムは、  
平成19年度から文部科

学省の委託事業として  
明治大学が円治体と連  
携して実施しているも  
ので、本年度は熊野地  
域で観光活性化に貢献  
できる人材の育成を目  
的に「外国人向け観光  
ガイドの育成プロジェ  
クト」を6月から翌年  
2月まで全20回講座で  
開く。

この日までに定員50  
人に対し、新宮市を中  
心に和歌山県三重県、  
大阪府から80人を超え  
る受講申し込みがあつ  
たため、18日で申し込  
みを締め切った。

開設シンポジウムを  
前に、佐藤青陽新宮市  
長とプロジェクトのコ  
ーディネーターを務め  
る明治大学経営学部の  
崎津浩教授がそれぞれ  
主催者あいさつ。

佐藤市長は「2年は  
熊野地域が世界遺産  
になって以来、外国人

観光客が急増している  
にもかかわらず、外国  
人向けの観光ガイドの  
人材が不足しているこ  
とを耳にした。英語で  
観光ガイドでできる人材  
を育てられないかとプ  
ロジェクトを立ち上げ  
た。二つ目の目的は、  
和歌山、三重をまたが  
る世界遺産地域の観光  
ガイドマップを英語で  
作成すること、と話し  
た。

シンポジウムでは、  
明治大学法学部の林雅  
彦教授を座長に、新宮  
市観光ガイドの会副会  
長の福辻京子さん、英  
会話教室主宰のティム

・テットマーさん、熊  
野、那智ガイドの会理  
手の江崎美智子さんが  
パネリストとなって  
「世界遺産―熊野の魅  
力」をテーマに意見を  
述べ合った。

パネリストたちは自  
然が熊野の魅力と語  
り、英語ガイドを自指  
す参加者に、林教授は  
「例えたとたどしい表  
現であっても相手が高  
んでくれるということ  
を心掛けた、また行  
ってみたいと旅行者は  
思ふ気がする。お互い  
の心と心のふれあいが  
大事、福辻さんは「熊  
野の魅力をもちろて勉

強するというのがはな  
く、自分で感じた風の  
色を表現すればいい  
」ティムさんは「地  
名、人名ばかりで何を  
言っているのか分から  
ない。歴史がストリー  
ーになったらおもしろ  
くなってくる。歴史だ  
けでなく、山菜や蕨草  
のこと、祭りなど自分  
の経験を教えてあげた  
らすばらしい」、江崎さ  
んは「笑顔とハートで  
お迎えできたらと思  
う。出会いのことでよ  
う。出会いのことでよ  
う。出会いのことでよ  
う。」とアドバイスし  
た。



熊野の魅力をテーマにシンポジウム



説明会に参加した人たち

同市出身の崎教授は  
「熊野地域が世界遺産  
になって以来、外国人